

(様式第9)

愛大医第  
平成21

厚生労働大臣 殿

愛媛大学医学部附属病院長 横山 雅

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	54	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	185人	132人	265.5人	看護業務補助	27人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	6人	8人	11.6人	理学療法士	5人	臨床検査技師	31人
薬剤師	20人	8人	27.7人	作業療法士	0人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	16人	0人	16.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	486人	9人	492.0人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	1人	その他の技術員	2人
歯科衛生士	2人	1人	3.0人	歯科技工士	2人	事務職員	68人
管理栄養士	5人	2人	7.0人	診療放射線技師	26人	その他の職員	31人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	510.6人	14.0人	524.6人
1日当たり平均外来患者数	1,053.8人	60.4人	1,114.2人
1日当たり平均調剤数		644.8	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンピン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンピンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノーゲン欠乏症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能ナステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマクグリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着、眼瞼癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有 <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	2人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有 <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有 <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	1人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍播爬術後若しくは骨髄炎播爬術後の症状に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有 <input checked="" type="radio"/> 無	人

無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。)及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。)が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
--	---------------------------------------	---

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	3人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間で胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

## 2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	57 人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	40 人
・多発性硬化症	68 人	・ウェゲナー肉芽腫症	14 人
・重症筋無力症	65 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	27 人
・全身性エリテマトーデス	132 人	・多系統萎縮症	18 人
・スモン	0 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	7 人
・再生不良性貧血	21 人	・膿疱性乾癬	7 人
・サルコイドーシス	55 人	・広範脊柱管狭窄症	4 人
・筋萎縮性側索硬化症	37 人	・原発性胆汁性肝硬変	31 人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	107 人	・重症急性膵炎	2 人
・特発性血小板減少性紫斑病	42 人	・特発性大腿骨頭壊死症	60 人
・結節性動脈周囲炎	14 人	・混合性結合組織病	33 人
・潰瘍性大腸炎	83 人	・原発性免疫不全症候群	6 人
・大動脈炎症候群	21 人	・特発性間質性肺炎	7 人
・ピュルガー病	12 人	・網膜色素変性症	28 人
・天疱瘡	39 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	54 人	・原発性肺高血圧症	3 人
・クローン病	46 人	・神経線維腫症	8 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	1 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5 人
・パーキンソン病関連疾患	186 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2 人
・アミロイドーシス	6 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	4 人
・後縦靭帯骨化症	91 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・ハンチントン病	2 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	定例会として開催されたものは 18回 その他、不定期で小規模なもの 多数回	
剖検の状況	剖検症例数 26 例	剖検率 15.2 %



## 1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
皮膚がん組織におけるリンパ管の制御機構	平川 聡史	皮膚科	9,000,000	補委 文部科学省科学研究費
白血病関連転写因子TELのES細胞を用いた機能解析と新規結合蛋白の同定	江口 真理子	周産母子センター	700,000	補委 文部科学省科学研究費
癌化学療法剤による口腔粘膜炎の発症機序解明と治療薬開発の基礎的研究	末丸 克矢	薬剤部	900,000	補委 文部科学省科学研究費
肝細胞及び免疫細胞の両面からみたC型肝炎ウイルス排除に関わる宿主細胞因子の同定	日浅 陽一	第三内科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
T細胞悪性リンパ腫に対するガンワクチンを併用した同種造血幹細胞移植療法の研究	藤原 弘	第一内科	900,000	補委 文部科学省科学研究費
IL-17によるヒト表皮角化細胞のケモカイン産生制御機構の研究	藤山 幹子	皮膚科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
3テスラ磁気共鳴装置を用いた心臓タギング撮像の自動解析システムの開発	東野 博	放射線科	700,000	補委 文部科学省科学研究費
生体顕微鏡による癌微小血管の内皮特性とリポソーム薬剤送達システム構築の基礎的研究	片山 富博	産科婦人科学	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
徐放化神経栄養因子を用いた顔面病的共同運動の治療法開発	羽藤 直人	耳鼻咽喉科	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
新規血管新生因子AGFTランスジェニックマウスを用いた皮膚光老化の研究	中岡 啓喜	皮膚科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
実験的真珠腫モデルを用いた真珠腫上皮成長因子の検討	比野平 恭之	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
研修医における処置時の感染防御とその行動に影響する因子に対する検討	高田 清式	総合臨床研修センター	700,000	補委 文部科学省科学研究費
消化管ホルモンおよびその受容体からのアプローチによる臓器相関の解析	松浦 文三	第三内科	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費
血小板TOLL-LIKE RECEPTORの活性化とその臨床的意義	羽藤 高明	輸血部	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
極低出生体重児の慢性肺疾患の客観的指標と早期介入に関する研究	村尾 紀久子	小児科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
リンパ管新生:膜結合型増殖因子による機能制御機構	平川 聡史	皮膚科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
脊髄圧迫部位の血流をリアルタイムに測定するシステムの開発	森野 忠夫	整形外科	800,000	補委 文部科学省科学研究費
胎盤におけるVEGF受容体RNAプロセッシング制御機構の解析	松原 圭一	周産母子センター	1,800,000	補委 文部科学省科学研究費
キャリアー細胞を用いた卵巣癌特異的癌ワクチン療法の開発	濱田 雄行	産科婦人科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
特発性顔面神経麻痺の新たな麻痺発症責任部位に関する基礎的研究	脇坂 浩之	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
マウス皮膚上皮SP細胞の角膜上皮細胞への分化誘導の検討	白石 敦	眼科	2,500,000	補委 文部科学省科学研究費

## 1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
皮膚悪性腫瘍微小環境の新たな評価法: 適切な再建と診断を目指して	森 秀樹	皮膚科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
Span80ペシクルを用いた悪性骨・軟部腫瘍治療の萌芽的研究	坂山 憲史	整形外科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
虚血性難聴に対する骨髄幹細胞を用いた再生治療の試み	澤井 志保	耳鼻咽喉科	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
組織特異的ノックアウトマウスを用いた角膜上皮細胞におけるHB-EGFの役割の検討	吉岡 龍治	眼科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
精神生理機能の側面からみた注意欠陥/多動性障害の病態研究	堀内 史枝	精神科神経科	741,325	補委 文部科学省科学研究費
顔面神経障害へのゲノム解析アプローチに関する研究	寺岡 正人	耳鼻咽喉科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
ヒト眼表面におけるTLR3の作動に関する研究	原 祐子	眼科	2,100,000	補委 文部科学省科学研究費
口腔癌におけるhWAPLの発現と機能	西川 英知	歯科口腔外科	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費
アルドステロン負荷腎障害モデルにおけるオステオポンチン発現機序及び抑制効果の解明	入田 純	第二内科	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
脂腺細胞の新規分泌膜小胞セボゾームの生成・分泌機構の解明	永井 彩子	老年科	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
虚血性内耳障害に対する虚血後低体温の効果に関する研究	兵頭 純	耳鼻咽喉科	2,200,000	補委 文部科学省科学研究費
内耳虚血耐性とその機序	竹田 将一郎	耳鼻咽喉科	2,000,000	補委 文部科学省科学研究費
新規口腔扁平癌腫瘍マーカー抗Sideroflexin3抗体の臨床的評価および解析	村瀬 隆一	歯科口腔外科	2,500,000	補委 文部科学省科学研究費
内耳虚血に対する人工酸素運搬体の効果	岡田 昌浩	耳鼻咽喉科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
唾液腺腫瘍におけるエストロゲンレセプターの役割	吉村 友秀	歯科口腔外科	1,350,000	補委 文部科学省科学研究費
癌遺伝子の発現抑制による唾液腺癌の分子標的治療法の確立	原 慎吾	歯科口腔外科	1,380,000	補委 文部科学省科学研究費
高血圧感受性遺伝子群の同定	三木 哲郎	加齢制御内科学	4,200,000	補委 文部科学省科学研究費
バイオインフォマティクスに基づいた口腔癌の個別診断・治療法の確立	浜川 裕之	口腔顎顔面外科学	3,500,000	補委 文部科学省科学研究費
自然免疫の新たな制御因子Ubc13による表皮の分化・自然免疫制御機構の研究	佐山 浩二	感覚皮膚医学	4,000,000	補委 文部科学省科学研究費
プロテオーム解析技術を用いた虚血性内耳障害の病態解明・診断法開発	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	6,300,000	補委 文部科学省科学研究費
大腿筋肉量スケールによる高齢者の転倒防止と寝たきり予防	伊賀瀬 道也	加齢制御内科学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
視神経脊髄型多発性硬化症における自然免疫異常と再発惹起因子	河野 祐治	加齢制御内科学	1,345,461	補委 文部科学省科学研究費

## 1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
レジスチンSNPによるメタボリックシンドロームオーダーメイド医療の体系的確立	大澤 春彦	分子制御内科学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
12p13転座型白血病の原因遺伝子TELの発生工学的機能解析	江口 峰斉	小児医学	1,000,000	補委 文部科学省科学研究費
Tet-On遺伝子誘導発現マウスを用いた乾癬発症機序におけるHB-EGFの解析	白方 裕司	感覚皮膚医学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
表皮特異的TGマウスによる乾癬病態への新規血管新生因子ANGPT16の関与の研究	花川 靖	感覚皮膚医学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
末梢血白血球遺伝子発現からの機能性精神障害の解明	上野 修一	脳とこころの医学	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
腫瘍幹細胞を標的とした悪性グリオーマ浸潤に対する効果的治療法の開発	大西 丘倫	脳神経病態外科学	700,000	補委 文部科学省科学研究費
LKB1遺伝子ノックアウトマウスを用いた子宮頸部腺癌発生メカニズムの解明	伊藤 昌春	生殖病態外科学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
創傷治癒過程における骨髄由来実質細胞とルミカンの役割-美しい治癒をめざして	大橋 裕一	視機能外科学	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
機能的SNPに着目したインスリンによるレジスチン遺伝子の転写調節機構の解明	大沼 裕	分子制御内科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
B型肝炎ウイルス塩基配列とサブゲノタイプのマイニング解析による病態関連遺伝子同定	道堯 浩二郎	先端病態制御内科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
新たな動物モデルを用いた難治性ウイルス感染症に対する免疫遺伝子治療の開発	田内 久道	小児医学	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
浸潤細胞を使って脳梗塞を救う	久門 良明	脳神経病態外科学	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費
顔面神経麻痺に対するウイルスベクターを用いた治療戦略の基礎的研究	高橋 宏尚	頭頸部・感覚器外科学	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
乳児白血病発症にかかわるマイクロRNAとその制御因子の解明	石井 榮一	小児医学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
口腔癌における超低発現遺伝子プロファイリング	中城 公一	口腔顎顔面外科学	900,000	補委 文部科学省科学研究費
血液RNAを用いた口腔癌の早期診断	浜川 裕之	口腔顎顔面外科学	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
超微粒子化βグルカンによるNF-κB活性化を応用した円形脱毛症の新規治療法の開発	佐山 浩二	感覚皮膚医学	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費
乳房外Paget病における癌幹細胞の同定および解析	橋本 公二	感覚皮膚医学	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費
IGF-1の下咽頭収縮筋内投与による加齢に伴う嚥下機能低下の予防に関する研究	田口 亜紀	頭頸部・感覚器外科学	500,000	補委 文部科学省科学研究費
白内障手術後に発症する化膿性眼内炎の発症原因の研究	川崎 史朗	視機能外科学	700,000	補委 文部科学省科学研究費
前房内感染におけるTLR(Toll Like Receptor)の役割	田坂 嘉孝	視機能外科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
網膜視神経節細胞におけるアンジオテンシンII受容体サブタイプの役割	溝上 志朗	視機能外科学	900,000	補委 文部科学省科学研究費

## 1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
動脈硬化プラーク破綻におけるレニン・アンジオテンシン系の役割に関する研究	鈴木 純	病態情報内科学	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費
子宮内膜におけるSide population cellの役割と着床不全	兵頭 慎治	生殖病態外科学	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費
正常眼圧緑内障モデル、網膜特異的BDNFおよびc-fosノックアウトマウスの解析	小林 剛	視機能外科学	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費
羊膜を用いて三次元培養皮膚を作り及び臨床応用	橋本 公二	感覚皮膚医学	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費
糖尿病疾患関連遺伝子同定と医療への応用	大澤 春彦	臨床検査医学	5,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
高周波誘導法を用いた腎癌の低侵襲焼灼治療システムの開発	渡部 祐司	低侵襲がん・治療センター	400,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
高血圧症における性差の分子遺伝学的背景の解明ーエストロゲン関連遺伝子群の役割ー	三木 哲郎	加齢制御内科学	150,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
抗腫瘍抗原ペプチドの臨床への導入に関する研究	安川 正貴	内科学第一	1,400,000	補委 厚生労働省がん研究助成金
グローバル早期臨床試験推進のための大学病院ネットワーク構築の基盤整備研究	野元 正弘	臨床薬理学	9,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究	恩地 森一	先端病態制御内科学	2,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
感音難聴に対する内耳薬物投与システム臨床応用に関する研究	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	1,700,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
小児がんに対する標準治療・診断確立のための研究	石井 榮一	小児医学	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
降圧治療および抗凝固療法の個人の特性に応じたテーラーメイド治療確立に関する研究	三木 哲郎	加齢制御内科学	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
若年性認知症の実態と対応の基盤整備に関する研究	谷向 知	神経精神医学	5,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	恩地 森一	先端病態制御内科学	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
急性高度難聴に関する調査研究	暁 清文	頭頸部・感覚器外科学	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
神経変性疾患に関する調査研究	野元 正弘	臨床薬理学	1,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
新規抗パーキンソン病薬ゾニサミドの神経保護作用に関する臨床研究	野元 正弘	臨床薬理学	3,200,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	橋本 公二	皮膚科学	2,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
表皮水疱症の根治的治療法確立に関する研究	橋本 公二	皮膚科学	3,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
角膜内皮機能不全に対する新しい治療方法の開発	大橋 裕一	視機能外科学	2,000,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金

10

20

21

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価の実績

## 1 研究費補助金等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	大西 丘倫	脳神経病態外科学	500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	白方 裕司	皮膚科学	1,500,000	補委 厚生労働省科学研究費補助金
多施設共同研究による病態解明に関する研究	三木 哲郎	加齢制御内科学	7,200,000	補委 独立行政法人医薬基盤研究所
パーキンソン病のジスキネジアにおける塩酸アママンタジンの有用性の検討	野元 正弘	病態治療内科学	400,000	補委 国立精神・神経センター
microRNAを用いた乳児白血病の病態解明	石井 榮一	小児医学	7,000,000	補委 国立成育医療センター
小児白血病発症に関わるTELとTEL-AML1遺伝子異常	江口 真理子	周産母子センター	1,000,000	補委 国立成育医療センター
認知症データベース構築(アルツハイマー病の診断基準)	谷向 知	脳とこころの医学	1,000,000	補委 国立長寿医療センター
脳梗塞関連遺伝子多型に関する研究	小原 克彦	加齢制御内科学	500,000	補委 国立長寿医療センター

87

合計 94

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Biol Chem.	Cooperative role of the membrane-proximal and distal residues of the integrin beta 3 cytoplasmic domain in regulation of talin-mediated alpha IIb beta 3 activation.	山之内 純	第一内科
Eur Arch Otorhinolaryngol	Detection of lymph node micrometastases in patients with squamous carcinoma of the head and neck	中城 公一	歯科口腔外科
Journal of Gastroenterology	Early biochemical response to ursodeoxycholic acid predicts symptom development in patients with asymptomatic primary biliary cirrhosis.	日浅 陽一	第三内科
Cancer Chemotherapy and Pharmacology	Effect of cortisol on cell proliferation and the expression of lipoprotein lipase and vascular endothelial growth factor in human osteosarcoma cell line.	坂山 憲史	整形外科
Hepatology Research	Efficacy of splenectomy for hypersplenic patients with advanced hepatocellular carcinoma.	日浅 陽一	第三内科
Journal of Gastroenterology	Characteristic endoscopic features of portal hypertensive enteropathy.	恩地 森一	第三内科
神経超音波医学	頸動脈狭窄症例に対する4次元エコーシステムの使用経験	久門 良明	脳神経外科
J Cell Sci	Plasma-membrane-anchored growth factor pro-amphiregulin binds A-type lamin and regulates global transcription	浜川 裕之	歯科口腔外科
Hepatology Research	Neuropsychiatric dysfunction in patients with chronic hepatitis and liver cirrhosis.	恩地 森一	第三内科
Developmental Medicine & Child Neurology	Evaluation of swallowing function in Duchenne muscular dystrophy.	福田 光成	小児科
Biochem Biophys Res Commun	Expression of Id and ITF-2 genes in the mammary gland during pregnancy	住田 知樹	歯科口腔外科
J Hand Surg	Giant cell tumour of the hamate treated successfully by acrylic cementation. A case report. (Review of the literature). A case report.	坂山 憲史	整形外科
J Gen Virol	HBZ is an immunogenic protein, but not a target antigen for human T-cell leukemia virus type 1-specific cytotoxic T lymphocytes.	藤原 弘	第一内科
Hepatology	Hepatitis C virus replication is inhibited by 22 beta-methoxyolean-12-ene-3 beta, 24(4 beta)-diol(ME3738) through enhancing IFN-beta.	日浅 陽一	第三内科
Int J Cardiovasc Imaging	History of Cardiac Computed Tomography: Single to 320-Detector Row Multislice Computed Tomography.	東野 博	放射線科
Oncol Rep	Hypoxia enhances CXCR4 expression by activating HIF-1 in oral squamous cell carcinoma	中城 公一	歯科口腔外科
Cancer Science	Identification of an epitope derived from CML66, a novel tumor-associated antigen expressed broadly in human leukemia, recognized by human leukocyte antigen-A*2402-restricted cytotoxic T lymphocytes.	藤原 弘	第一内科
Arthroscopy	Laser-guided placement of the tibial guide in the transtibial technique for anterior cruciate ligament reconstruction.	高橋 敏明	整形外科
Journal of Gastroenterology	Liver/spleen volume ratio as a predictor of prognosis in primary biliary cirrhosis	日浅 陽一	第三内科
Am J Physiol-Gastrointest Liver Physiol	Mutational analysis of the predicted intracellular loop domains of the human motilin receptor	松浦 文三	第三内科
Biochem Biophys Res Commun	Role of Akt isoforms in HGF-induced invasive growth of human salivary gland cancer cells	中城 公一	歯科口腔外科
Lancet	Steroid and antiviral treatment for Bell's palsy	羽藤 直人	耳鼻咽喉科
J Biol Chem.	The role of zinc finger protein 521 / early hematopoietic zinc finger protein in erythroid cell differentiation.	山之内 純	第一内科

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Gastroenterology	Liver/spleen volume ratio as a predictor of prognosis in primary biliary cirrhosis	恩地 森一	第三内科
Proteomics Clinical Applications	Serum autoantibody to sideroflexin 3 as a novel tumor marker for oral squamous cell carcinoma	浜川 裕之	歯科口腔外科
Oncology reports	Stat3 as a molecular target in RNA interference-based treatment of oral squamous cell carcinoma	浜川 裕之	歯科口腔外科
American Journal of Roentgenology	Virtual puncture line of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma of the caudate lobe.	恩地 森一	第三内科
Journal of Gastroenterology	Early biochemical response to ursodeoxycholic acid predicts symptom development in patients with asymptomatic primary biliary cirrhosis.	恩地 森一	第三内科
Journal of Gastroenterology	Liver/spleen volume ratio as a predictor of prognosis in primary biliary cirrhosis	恩地 森一	第三内科
Gene Therapy	Therapeutic effect of CXCR3-expressing regulatory T cells on liver, lung and intestinal damages in a murine acute GVHD model.	長谷川 均	第一内科
American Journal of Roentgenology	Virtual puncture line of radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma of the caudate lobe.	廣岡 昌史	第三内科
日本口腔診断学会誌	オトガイ形成に用いたシリコンプロテーゼが顎下部に迷入した1例	浜川 裕之	歯科口腔外科
Journal of Gastroenterology	Characteristic endoscopic features of portal hypertensive enteropathy.	日浅 陽一	第三内科
Blood	Aurora-A kinase: a novel target of cellular immunotherapy for leukemia.	藤原 弘	第一内科
Head & Neck	Basic evidences of molecular targeted therapy for oral cancer and salivary gland cancer	中城 公一	歯科口腔外科
Biochem Biophys Res Commun	CD151 regulates HGF-stimulated morphogenesis of human breast cancer cells	中城 公一	歯科口腔外科
頭頸部癌	口腔扁平上皮癌cNO症例における FDG PET-CT とセンチネルリンパ節生検の意義	浜川 裕之	歯科口腔外科
皮膚病診療	抗けいれん薬による薬疹 一新規薬剤を含めて	橋本 公二	皮膚科
Japanese Journal of Clinical Oncology	Treatment of Hepatocellular Carcinoma Using Arterial Chemoembolization with Degradable Starch Microspheres, and Continuous Arterial Infusion of 5-Fluorouracil.	恩地 森一	第三内科
日本医事新報	重症薬疹DIHSの病態(Q&A)	橋本 公二	皮膚科
映像情報Medical	3T MRI 心臓のMRI	東野 博	放射線科
映像情報Medical	3T-MRIによる心臓MRI 現状と今後の課題	東野 博	放射線科
臨床放射線	3T装置を用いた心臓MRI	東野 博	放射線科
Anticancer Res	A complete remission of sclerosing rhabdomyosarcoma with multiple lung and bone metastases treated by multi-agent chemotherapy and peripheral blood stem cell transplantation (PBSCT): a Case report.	坂山 憲史	整形外科
Journal of cerebral blood flow and metabolism	Accumulation of macrophage-like cells expressing NG2 proteoglycan and Iba1 in is chemic core of rat brain after transient middle cerebral artery.	久門 良明	脳神経外科
International Journal of Hematology	Allogeneic stem cell transplantation for refractory adult T-cell leukemia using a non-T-cell-depleted HLA-incompatible family donor graft, with reference to the growth-up child donor to parent recipient setting: report of a pilot study.	藤原 弘	第一内科
Radiation Medicine	Analysis of microvasculature after reperfused acute myocardial infarction using the maximum slope method of contrast-enhanced magnetic resonance imaging	長尾 充展	放射線科
Circulation Journal	Clinical importance of residual perfusion defect on contrast-enhanced MRI in reperfused acute myocardial infarction	長尾 充展	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Japanese Journal of Clinical Oncology	Treatment of Hepatocellular Carcinoma Using Arterial Chemoembolization with Degradable Starch Microspheres and Continuous Arterial Infusion of 5-Fluorouracil.	恩地 森一	第三内科
西日本皮膚科	超微粒子化βグルカン(Lentinan)を用いたアトピー性皮膚炎に対する多施設共同研究所	白方 裕司	皮膚科
Hepatology	Hepatitis C virus replication is inhibited by 22β-methoxyolean-12-ene-3β, 24(4β)-diol(ME3738) through enhancing IFN-β.	恩地 森一	第三内科
Human Cell	Establishment and characterization of a human cell line derived from a uterine papillary serous carcinoma with wild-type p53 function.	伊藤 昌春	産婦人科
Biochem Biophys Res Commun	Expression of Id and ITF-2 genes in the mammary gland during pregnancy	浜川 裕之	歯科口腔外科
Gynecologic Oncology	Germ cell specific protein VASA is over-expressed in epithelial ovarian cancer and disrupts DNA damage-induced G2 checkpoint.	伊藤 昌春	産婦人科
Hepatology	Hepatitis C virus replication is inhibited by 22β-methoxyolean-12-ene-3β, 24(4β)-diol(ME3738) through enhancing IFN-β.	小西 一郎	第三内科
Hum Mol Genet	High-Density Association Study and Nomination of Susceptibility Genes for Hypertension in the Japanese National Project.	小原 克彦	老年科
Oncol Rep	Hypoxia enhances CXCR4 expression by activating HIF-1 in oral squamous cell carcinoma	浜川 裕之	歯科口腔外科
Cancer Sci	Identification of an epitope derived from CML66, a novel tumor-associated antigen expressed broadly in human leukemia, recognized by human leukocyte antigen-A2402-restricted cytotoxic T lymphocytes.	長谷川 均	第一内科
Hypertens Res	Identification of hypertension-susceptibility genes and pathways by a systemic multiple candidate gene approach: the millennium genome project for hypertension	小原 克彦	老年科
J Orthop Res.	Ketoprofen in topical formulation decreases the matrix metalloproteinase-2 expression and pulmonary metastatic incidence in nude mice with osteosarcoma.	宮崎 龍彦	ゲノム病理
J Gastroenterol	Liver/spleen volume ratio as a predictor of prognosis in primary biliary cirrhosis.	阿部 雅則	第三内科
愛媛医学	頸部内頸動脈狭窄症に対するCAS/CEAの治療成績と術後過灌流症候群のリスクファクターに関する検討	福本 真也	脳神経外科
Proteomics Clinical Appli	Serum autoantibody to sideroflexin 3 as a novel tumor marker for oral squamous cell carcinoma	住田 知樹	歯科口腔外科
Oncology reports	Stat3 as a molecular target in RNA interference-based treatment of oral squamous cell carcinoma	中城 公一	歯科口腔外科
American Journal of Roentgenology	Quantification of myocardial perfusion by contrast-enhanced 64-MDCT: characterization of ischemic myocardium	長尾 充展	放射線科
愛媛医学	MALDI TOF-MSを用いた新たな子宮内膜症診断マーカーの検索法	伊藤 昌春	産婦人科
Hepatology Research	Natural history of primary biliary cirrhosis.	阿部 雅則	第三内科
Biochem J	Probing the interaction of tetraspanin CD151 with integrin alpha3beta1 using a panel of monoclonal antibodies with distinct reactivities toward the CD151-integrin alpha3beta1 complex.	長谷川 均	第一内科
Biochem Biophys Res Commun	Role of Akt isoforms in HGF-induced invasive growth of human salivary gland cancer cells	浜川 裕之	歯科口腔外科



2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
実験医学	【特集／リンパ管の形成機構と疾患】癌リンパ節転移とリンパ管新生:シグナル伝達経路の抑制をめざして	橋本 公二	皮膚科
分子細胞治療	【特集／リンパ管の発生文化とその病態】皮膚におけるリンパ管新生	橋本 公二	皮膚科
臨床皮膚科	【特集／最近のトピックス 新しい検査法と診断法】Drug-induced hypersensitivity syndrome(DIHS)におけるウイルス検査 何をどのタイミングで依頼するか	橋本 公二	皮膚科
Anticancer Res.	A complete remission of sclerosing rhabdomyosarcoma with multiple lung and bone metastases treated with multi-agent chemotherapy and peripheral blood stem cell transplantation (PBSCT): a case report.	宮崎 龍彦	ゲノム病理
Br J Dermatol	A marked increase in serum soluble Fas ligand in drug-induced hypersensitivity syndrome	白方 裕司	皮膚科
J Gastroenterol	Liver/spleen volume ratio as a predictor of prognosis in primary biliary cirrhosis.	阿部 雅則	第三内科
Pathology International	Aneurysms of the renal arteries associated with segmental arterial mediolysis in a case of polyarteritis nodosa.	宮崎 龍彦	ゲノム病理
臨床薬理	治験担当医の研修	野元 正弘	創薬・育薬センター
Journal of Gastroenterology	Early biochemical response to ursodeoxycholic acid predicts symptom development in patients with asymptomatic primary biliary cirrhosis.	阿部 雅則	第三内科
分子心血管病	AT1受容体自己抗体と妊娠高血圧症候群	伊藤 昌春	産婦人科
脳卒中	当院における頸動脈ステントとCEAの周術期および長期成績	久門 良明	脳神経外科
J Natl Cancer Inst	Autocrine and paracrine chemokine receptor 7 activation in head and neck cancer: implications for therapy.	長谷川 均	第一内科
Head & Neck	Basic evidences of molecular targeted therapy for oral cancer and salivary gland cancer	浜川 裕之	歯科口腔外科
臨床薬理	治験実施診療グループの構築による規模の拡大と実施速度の向上	野元 正弘	創薬・育薬センター
Biochem Biophys Res Commun	CD151 regulates HGF-stimulated morphogenesis of human breast cancer cells	浜川 裕之	歯科口腔外科
Front. Biosci.	Chemokine blockade for lupus model mice.	長谷川 均	第一内科
IJU	Prospective study of combined treatment with interferon-alpha and active vitamin D 3 for japanese patients with metastatic renal cell carcinoma	横山 雅好	泌尿器科
西日本泌尿器科	局所進行性あるいは転移を有する尿路上皮癌症例に対する集学的治療	横山 雅好	泌尿器科
愛媛医学	脳動脈瘤クリッピング術における手術支援システムの果たす役割:安全かつ確実な手術をめざして	久門 良明	脳神経外科
脳卒中の外科	脳血管障害の開頭手術における手術支援システムの有用性と問題点	久門 良明	脳神経外科
Hepatology Research	Efficacy of splenectomy for hypersplenic patients with advanced hepatocellular carcinoma.	恩地 森一	第三内科
Eur Arch Otorhinolaryngol	Detection of lymph node micrometastases in patients with squamous carcinoma of the head and neck	浜川 裕之	歯科口腔外科
Parkinsonism Relat Disord	Plasma amantadine concentrations in patients with Parkinson's disease.	森豊 隆志	創薬・育薬センター
Journal of Gastroenterology	Early biochemical response to ursodeoxycholic acid predicts symptom development in patients with asymptomatic primary biliary cirrhosis.	阿部 雅則	第三内科



(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 横山 雅好
管理担当者氏名	放射線部長・ME機器センター長 望月 輝一、薬剤部長 荒木 博陽、 医療情報部長 石原 謙、看護部長 田淵 典子、総務課長 藤原 楠生、 人事労務室長 和田 邦夫、医事課長 重松 章三、 医療サービス室長 岩川 保、経営管理課長 池田 政昭、 研究協力室長 亀岡 輝芳

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書	各診療科 薬剤部 看護部 放射線部 医療情報部 医事課	エックス線写真は集中管理 (放射線部) カルテは医療情報部で一括保管 (1患者1カルテ)
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	従業者数を明らかにする帳 簿	人事労務室
	高度の医療の提供の実績	医事課
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	研究協力室
	高度の医療の研修の実績	人事労務室
	閲覧実績	総務課
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳 簿	医事課 薬剤部
確規 保則 の第 9 状 況 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲	専任の医療に係る安 全管理を行う者の配置 状況	医療サービス室
	専任の院内感染対策 を行う者の配置状況	医療サービス室
	医療に係る安全管理 を行う部門の設置状況	医療サービス室
	当該病院内に患者か らの安全管理に係る相 談に適切に応じる体制 の確保状況	医療サービス室
	医療に係る安全管理 のための指針の整備状 況	医療サービス室
	医療に係る安全管理 のための委員会の開催 状況	医療サービス室
	医療に係る安全管理 のための職員研修の実 施状況	医療サービス室

	医療機関内における 事故報告等の医療に係 る安全の確保を目的と した改善のための方策 の状況	医療サービス室
--	--	---------

		保管場所	分類方法
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則	院内感染のための指 針の策定状況	医療サービス室
	第1条	院内感染対策のため の委員会の開催状況	医療サービス室
	の11	従業者に対する院内 感染対策のための研修 の実施状況	医療サービス室
	各号に掲げる	感染症の発生状況の 報告その他の院内感染 対策の推進を目的とし た改善のための方策の 実施状況	医療サービス室
	体制確保の	医薬品の使用に係る 安全な管理のための責 任者の配置状況	薬剤部
	状況	従業者に対する医薬 品の安全使用のための 研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用の ための業務に関する手 順書の作成及び当該手 順書に基づく業務の実 施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用の ために必要となる情報 の収集その他の医薬品 の安全使用を目的とし た改善のための方策の 実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用 のための責任者の配置 状況	ME機器センタ ー
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	ME機器センタ ー
	医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	ME機器センタ ー	

	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター
--	---	----------

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営部長 井上 由紀
閲覧担当者氏名	総務課長 藤原 楠生
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	72.2%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,179	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,332	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	209	人
	D: 初診の患者の数	16,188	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 1 名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1 名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 1 ) 名 兼任 ( 20 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告のあったインシデントのモニタリング、分析及び影響レベルの判定に関する事</li> <li>・ 判定した影響レベルが 3b 以上のものについて、インシデント審議委員会への報告に関する事</li> <li>・ インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関する事</li> <li>・ 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関する事</li> <li>・ 医療安全管理委員会等で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関する事</li> <li>・ 安全管理に関する教育・研修等の実施に関する事</li> <li>・ 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関する事</li> <li>・ 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関する事</li> <li>・ 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関する事</li> <li>・ 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導に関する事</li> <li>・ 他の委員会、患者相談窓口等他部門及びリスクマネージャー等との連絡調整に関する事</li> <li>・ 医療事故防止等に係る情報提供に関する事</li> <li>・ その他医療の質の向上及び安全管理に関する事</li> </ul>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 患者中心の医療の実践</li> <li>・ 医療安全に関する組織的取り組み</li> <li>・ インシデントの報告と情報の共有</li> <li>・ 機能する医療事故防止対策</li> <li>・ 適切な医療事故への対応</li> <li>・ 患者相談の実施、指針等の閲覧</li> <li>・ 医療安全教育・研修、啓発</li> <li>・ 医療安全管理マニュアルの作成・更新</li> </ul>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療安全管理指針の策定及び変更に関する事</li> <li>・ 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事</li> <li>・ 医療事故に対する対応策の策定に関する事</li> <li>・ 医療事故防止のための教育、研修及び啓発に関する事</li> <li>・ 患者・家族等及び医療事故に関係した者に関しての対応に関する事</li> <li>・ 関係機関等への報告及び報道への対応に関する事</li> <li>・ その他、医療の安全管理及び医療事故対策に関する事</li> </ul>	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>H20.7.25 第1回医療安全に関する講演会 (テーマ：RCAの手法と活用)</p> <p>H20.9.11 第2回医療安全に関する講演会 (テーマ：開示に耐えられる診療記録の記載のポイント)</p>	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嚥下食Vから食思導入七分菜に変更後、患者がブロッコリーを誤嚥した事例より、嚥下機能が悪い患者に提供される食事を撮影し、「嚥下食ピラミッドの食事基準」として固さの段階に合わせて提供される形態を配置した基準を栄養部のHPに掲示してもらい、各部署から誰がみても、どのような固さのものが提供されるのか分かるようにした。また、「基本的な食事形態および献立例」として、一般食の名称と、食思不振食の名称にあわせ提供される主食形態、副食形態、写真に撮影した献立例を一覧にしてわかりやすく掲載した。</li> <li>・ 手術時間延長と術後呼吸不全の遷延により、家族が治療に対し不満を抱いた事例より手術の説明時は、発生するリスクに対しても十分説明を行うように同意説明書の内容の改善を行った。説明に時間を要することもあり、発生する恐れのある合併症を資料としてお渡しする事にした。</li> <li>・ 化学療法の伴う骨髄抑制されている患児がリハビリ中に転倒した事例より患者の状態の情報交換及び安全なリハビリ環境を作るため、病棟とリハビリ部門で情報交換が行えるように調整した。</li> <li>・ NGチューブの左肺への誤挿入事例よりNGチューブ挿入後はPHチェックを行い、5.5以下の時に栄養剤の注入を開始するように手順を作成し直した。</li> <li>・ インデラルを処方したが、10倍量を5日間投与した事例より薬剤名に粉碎ということがわかるようにマスターを作成し、その薬剤はmg単位で処方できるようにした。</li> <li>・ MRI検査時、輸液シーネがマグネットに吸着された事例より小児が入院し、MR胃検査が行われる病棟にシーネとして代用できるプラスチック製の板を配布した。</li> <li>・ 他院での受精卵の取り間違い事故より受精卵取り扱いマニュアルの整備改訂：人工授精事故防止マニュアル、体外受精事故防止マニュアル、顕微受精事故防止マニュアル、胚凍結事故防止マニュアル、胚融解事故防止マニュアルの整備改訂</li> <li>・ インスリンを実施しようとした時に、残薬がなかったため冷蔵庫にあったインスリンを使用したが、退院患者の残薬だった事例より遅出業務に冷蔵庫の整理を明記し、毎日不要なもの確認するようにした。</li> <li>・ 気切を行った放射線治療患者が、チューブの閉塞のため意識レベルの低下を来した事例より気切患者の放射線治療中の急変時の対応の取り決めを、病棟と放射線部でおこなった。</li> <li>・ 日齢130日の患者の動脈ラインのシリンジと延長チューブの接続はずれの事例よりシリンジは全てロック式シリンジを使用することとした。</li> </ul>	



院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容：</li> <li>・ 院内感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>・ 院内感染対策のための委員会等に関する事項</li> <li>・ 職員研修の実施に関する事</li> <li>・ 院内感染発生時の対応</li> <li>・ 院内感染対策マニュアルの整備に関する事</li> <li>・ 患者への情報提供と説明</li> <li>・ その他院内における感染対策の推進に関する事</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年11回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容：</li> <li>・ 院内感染の調査、予防対策に関する事</li> <li>・ 院内感染防止の実施、監視及び指導に関する事</li> <li>・ 院内感染発生時の措置に関する事</li> <li>・ 職員の院内感染の教育に関する事</li> <li>・ その他院内感染防止に関する事</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年2回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> </ul> <p>H20.8.28 第1回院内感染に関する講演会 (テーマ：針刺し・切創)</p> <p>H20.1.29 第2回院内感染に関する講演会 (テーマ：口腔ケア)</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>・ コンサルテーション</li> <li>・ 針刺し・切創の発生状況と対策について、または、ワクチン接種等の職業感染対策</li> <li>・ 抗菌薬の適正使用について</li> <li>・ 防護具、衛生器材及び手指消毒剤などの検討</li> <li>・ 学生、外部委託業者も含めた教育について</li> <li>・ 感染対策についてのマニュアルの作成と推進</li> </ul>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハイリスク薬の取り扱いについて</li> <li>・ 医療安全のための改善事例発表会 (持参薬管理における腎機能低下時の薬剤適正使用に向けた取り組み)</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有 無)</li> <li>・ 業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要注意医薬品リストの作成</li> <li>・ 安全な医薬品管理状況の現場確認ラウンドの実行</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名称類似医薬品の誤認対策 オーダ名称の変更 (薬品名の前に*薬効*の付加)</li> <li>・ 手術前中止医薬品検索の簡便化 電子カルテ処方履歴より検索可能</li> </ul> </li> </ul>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： 「シリンジポンプ・輸液ポンプの安全な使い方」他</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常点検</li> <li>・ 終業点検</li> <li>・ 定期点検</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">他</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <p style="text-align: center;">同様目的における各装置の統一化</p> </li> </ul>	